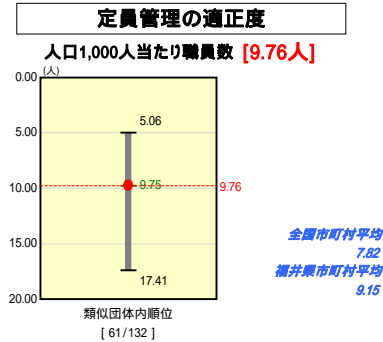
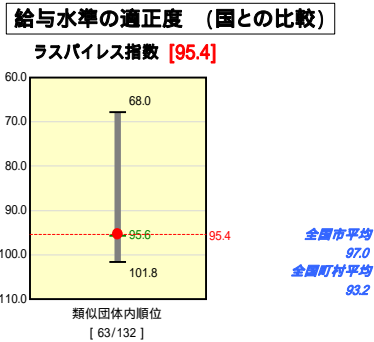
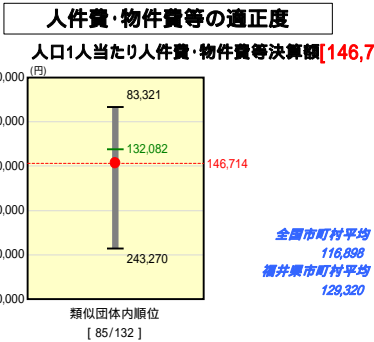
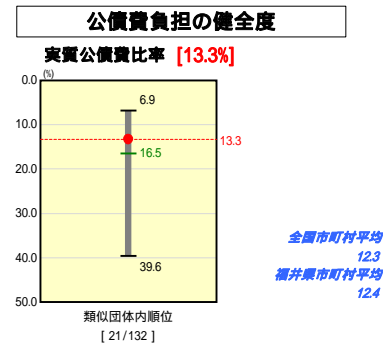
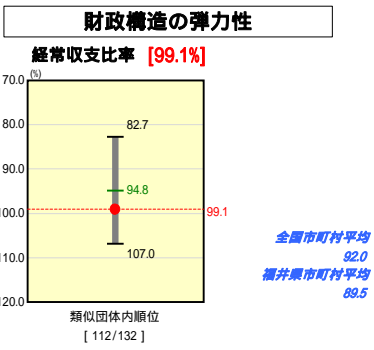
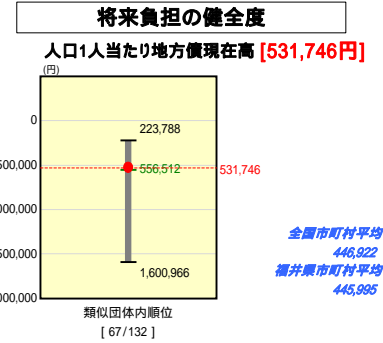
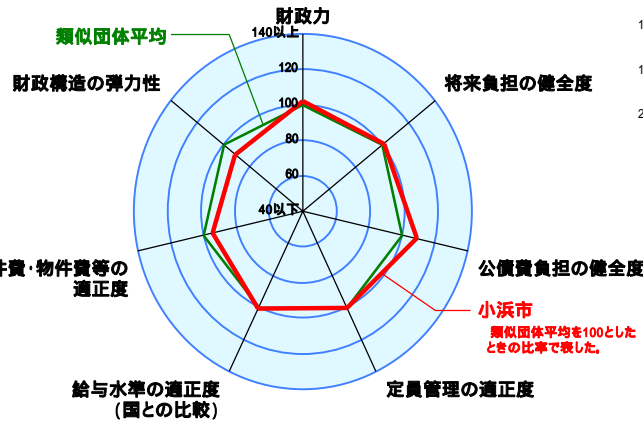
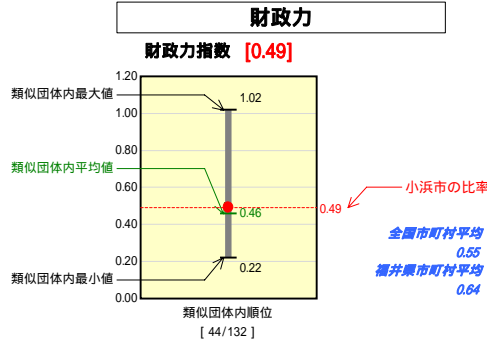


# 市町村財政比較分析表(平成19年度普通会計決算)

## 福井県 小浜市

人口	31,855	人(H20.3.31現在)
面積	232.86	km <sup>2</sup>
歳入総額	16,559,385	千円
歳出総額	16,060,719	千円
実質収支	453,818	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

### 分析欄

全体的に、ほぼ、類似団体平均に近い財政状況であるが、財政構造の弾力性が悪化し硬化化が進んでいる。  
 財政力指数  
 類似団体平均をやや上回っているが、税収の大きな伸びは期待できない状況である。今後とも、産業基盤を強化する中で、企業を積極的に誘致し、雇用の拡大を図り、税収の確保に努める。  
 経常収支比率  
 類似団体平均を上回っており、その内訳は人件費、物件費、その他が平均を上回っている。特にその他(繰出金)が平均を大きく上回り、下水道への繰出金も他類似団体よりも大きい。今後、リサイクルプラザおよび小浜小学校建設(事業期間:H17～H19)による起債償還が発生し、公債費は増加するため、経常収支比率は高い水準で推移する。そのため、全会計職員数を364人(H18)から310人(H23)まで削減(54人減)し、小さな市町村の実現を目指す。また、受益と負担の適正化を図り、経常経費の削減に努めていく。  
 人口1人当たり人件費・物件費等決算額  
 人件費は、H17は類似団体平均を下回っていたが、H18から上回っている。また、物件費も類似団体平均を上回っている。人件費においては、委員等報酬が類似団体平均を大きく上回り、嘱託職員に依存している実態がわかる。また、病院や消防等の一部事務組合の人件費・物件費等に充てる負担金や下水道事業などの公営企業会計の人件費等に充てる費用を加算して比較した場合、人口1人当たりの金額はより増加する。今後とも保育園の統廃合等を進め、人件費全体について抑制していく。物件費においては、委託料が類似団体よりやや多いが、これは、民間委託を推進しているためである。

ラスパイレス指数  
 類似団体平均をやや下回っている。H20において特殊勤務手当の見直し、管理職手当の定額化を行う。今後も、職員給与の適正化に努めていく。  
 人口1人当たり地方債現在高  
 類似団体平均をやや下回っているが、H17～19にリサイクルプラザおよび小浜小学校建設などの大規模事業を実施したため、地方債残高が増加している。今後は、中長期財政計画に基づき、適切な地方債管理に努めていく。  
 実質公債費比率  
 H18にH17と比べて前年度の減税補てん債の満期一括償還を行ったため、前年度数値は類似団体平均を上回っていた。H18(H17～H19の平均)はH18数値が外れたため、類似団体平均を下回った。しかし、下水道事業や小浜病院の高度医療施設整備事業、また、H17から着手したリサイクルプラザおよび小浜小学校建設の大規模事業を実施したため、H22まで、公債費は増加する見込みである。当面は、大規模事業以外の投資の経費を抑制し、適切な地方債管理に努めていく。  
 人口1,000人当たり職員数  
 類似団体平均をやや上回っており、今後も保育園・小学校の統合、保育園の民営化、窓口職員の嘱託化などを推進し、H18からの5年間で職員数を54人削減する計画である。